

# 令和3年度第1回成田市防犯まちづくり推進協議会概要

## 1 開催日時

令和3年10月12日（火）午後3時30分～午後4時30分

## 2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 本庁舎6階 大会議室

## 3 出席者

（委員）15名

阿部(光)会長，高仲副会長，勝田委員，佐瀬委員，北村委員，杉山委員，森口委員，井上委員，中尾委員，若狭委員(丹羽委員の代理)，石川委員，井口委員，伊藤委員，阿部(寿)委員及び長谷川委員

（事務局）7名

谷平市民生活部長，鈴木交通防犯課長，中清水交通防犯課主幹，坂上交通防犯課係長，目崎交通防犯課主査，石橋交通防犯課主任主事，鈴木交通防犯課主事

## 4 議題

(1) 役員の選出

(2) 第4次成田市防犯まちづくり推進計画の進捗について

(3) 街頭防犯カメラの設置について

## 5 議事（要旨）

(1) 役員の選出

### 【事務局提案】

委員からの立候補及び互選がないため，事務局から提案。

会長については，前期から引き続き，成田警察署管内学校警察連絡委員会，同委員会代表の阿部（光）委員，副会長については，高仲委員の選任を提案。

### 【審議結果】

異議なし。

(2) 第4次成田市防犯まちづくり推進計画の進捗について

### 【事務局提案】

議題（2）については，最初に第4次計画で実施することとなった施策の中で，力を入れている取り組みを紹介したのちに，「第4次成田市防犯まちづくり推進計画の令和2年度分の成果」の報告を行った。

## ①成果指標の達成状況

### ・＜安全を示す＞指標

計画では、「人口1万人当たりの犯罪発生件数」を「安全」を示す成果指標として設定しており、令和2年は59.8件で、令和5年度目標値80件を達成している。

## ②基本方針1. 自主防犯意識の醸成（抵抗性の強化）

### 個別施策1－(1)防犯教育の推進

警察と連携して「なりたメールによる情報提供」を行い、主に市内における犯罪の発生情報をはじめ、不審者の情報や電話de詐欺の前兆と思われる情報など、その内容や対応方法などを発信している。

今年3月末現在では17,228名が登録しており、令和5年度目標値13,000名を達成している。

### 個別施策1－(3)普及・啓発活動の実施

防犯知識の普及を目的とし、令和2年12月10日に街頭キャンペーンをJR成田駅前にて実施。青色回転灯パトロール車による啓発活動につきましては、平日に、まちづくり指導員、通学路パトロール隊による巡回を行い、移動えき番車のパトロールについては、365日毎日実施している。

### 個別施策1－(5)被害者等への支援・配慮

犯罪行為により不慮の死を遂げた市民の遺族又はその行為により傷害を受けた市民に対して、支援金の支給等の支援を行うことによって犯罪被害者等の生活の安定と精神的被害の軽減を図ることを目的とする犯罪被害者支援制度があり、令和2年度は、この制度により、遺族支援金として30万円を支給した。

## ③基本方針2. 自主的な防犯活動の推進（領域性の強化）

### 個別施策2－(1)自主防犯活動を担うリーダーの育成

「地域防犯推進員活動」について令和2年度の活動回数は184回となり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から6月のパトロール活動は中止したことから、活動回数目標値500回を達成することができなかった。

#### 個別施策 2-(2) 自主防犯活動団体との連携活動

成田防犯連合会、警察と合同で久住地区の防犯現地診断を行い、駐輪場利用者への啓発活動として、二重施錠を呼びかける活動(B26 活動)を奇数月に実施。

令和 2 年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、啓発物資の配布が出来ない時には、青色回転灯パトロール車により巡回を行い、見せる警戒活動を行った。

#### 個別施策 2-(4) 自主防犯活動団体に対する支援

パトロールの際に使用するベストや青色合図灯など物品の貸出しを行っている。なお、指標として設定している自主防犯活動団体の数については 75 団体であり、

令和 2 年度時点では 69 団体となっており、今後も HP 等により周知を図っていく。(現在は 71 団体)

### ④基本方針 3. 犯罪抑止対策の実施 (領域性の強化)

#### 個別施策 3-(1) 青色回転灯パトロール車による巡回の実施

警察官経験者である防犯まちづくり指導員が平日 1 日 2 回、市民ボランティアの地域防犯推進員とともに駅周辺や犯罪多発地区を巡回している。

令和 2 年度は、コロナの影響で中止の月もあり、活動日数実績は 241 日。

#### 個別施策 3-(2) 成田市駅前番所・成田市移動駅前番所の運用

JR 成田駅西口に開設した「成田市駅前番所」にて毎日、午後 6 時から最終電車到着後の午前 1 時 15 分まで、2 名の警察官経験者である駅前番所員が、駅西口の巡回と立番を交代で行い、駅利用者の安全確保に努めている。

また、成田市移動駅前番所(移動えきばん)の運用では、平日は、午後 6 時から午前 0 時、土・日・祝日は午前 10 時 15 分から午前 0 時まで 2 名の警察官経験者の移動駅番員が、無人駅と犯罪抑止重点地区及び主要公園を中心に駐留と巡回を行っている。

令和 2 年度の取扱件数は駅前番所が 944 件、移動駅前番所が 611 件。

### 個別施策 3-(3) 高齢者等を標的とした犯罪への対策（電話 de 詐欺・悪質商法対策）

電話 de 詐欺対策として、なりたメールによる注意喚起を行っているほか、偶数月の年金支給日に防災無線による注意喚起及び金融機関前での街頭啓発活動や青色回転灯パトロール車により啓発活動を行っている。

電話 de 詐欺の令和 2 年の被害状況は、前年から 7 件減少し 15 件。しかし、被害金額は、前年を上回る結果となっていることから、より悪質かつ巧妙な手口となっていることが考えられる。

### 個別施策 3-(4) 子どもや女性を犯罪から守るための取り組み

成田市シルバー人材センターへ委託をしている「通学路パトロール隊」により、市内の小中学校学区を青色回転灯パトロール車 6 台で下校時のパトロールを実施。

成田警察署と連携をしてわいせつ事案防止街頭キャンペーンとして青色回転灯車によるパトロールを行い、令和 2 年度においては、9 月 3 日に成田駅前周辺、9 月 17 日に公津の杜駅前周辺にて実施。

## ④基本方針 4. 防犯に配慮した生活環境整備（監視性の強化）

### 個別施策 4-(1) 犯罪抑止重点地区の指定

令和 3 年 3 月に開催の当協議会において、成田駅から表参道の周辺一帯、京成公津の杜駅の周辺、イオンモールのあるウイング土屋地区の 3ヶ所を「犯罪抑止重点地区」として指定。自転車の盗難防止啓発活動や、移動えきばん車の駐留、防犯カメラの設置などを行い、引き続き防犯対策を実施している。

### 個別施策 4-(2) 防犯カメラ等の設置管理

令和 2 年度は犯罪抑止重点地区であるウイング土屋地区の印旛教育会館前に 1 台、その他、自転車盗難被害が多かった滑河駅駐輪場などに 4 か所に 4 台の計 5 台を設置。

現在、街頭防犯カメラは、犯罪抑止重点地区に 43 台、その他、公園や不審者情報が寄せられた場所などに 52 台の計 95 台が設置されている。

警察への画像提供には、令和 2 年度は 26 件の事案に対して、のべ 59

台のカメラ映像を提供。

#### 個別施策 4-(3)防犯灯の設置と適切な維持管理

区や自治会に対し、防犯灯設置にかかる費用の一部を補助することで、設置促進を図っており、維持管理についても電気料金等を補助金として交付。

防犯灯の設置促進として、防犯灯を 14,200 灯としており、令和 2 年度末の防犯灯数については、14,137 灯であることから、順調に増加している。

防犯灯の計画的な交換促進では、令和元年度に市所有の防犯灯 2,350 灯を LED 化しており、令和 2 年度は、区・自治会で維持管理している防犯灯で、市が補助金の対象としている約 12,000 灯の防犯灯について市に移管し、ESCO 事業（※1）を導入して、既存の水銀灯・蛍光灯を一斉に LED 化することを予定している。進捗状況は、今月に防犯灯の調査及び工事にとりかかる予定。

※1 ESCO 事業（エスコじぎょう：Energy Service Company 事業の略）とは、市と契約する事業者が、防犯灯 LED 化工事やその後の管理を実施し、それに伴う委託料は防犯灯 LED 化による電気料金等の削減分で賄う事業のこと。

#### 【委員からの意見】

阿部(光)議長：ただ今の「第 4 次成田市防犯まちづくり推進計画の進捗について」、何か、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

阿部(寿)委員：防犯カメラの経年劣化について、更新を考えているかと思うが、現在の稼働率はどれくらいなのか。

事務局：防犯カメラについては、定期的に保守管理を委託しており、現時点で不具合などの報告はなく、100%稼働しています。

阿部(光)議長：ほかに何かご意見はありますか。

若狭委員：成田警察署管内の犯罪発生状況について説明します。令和 3 年 8 月末現在で 33 件でございます。8 月末までを 32 週と考えますと、1 週間に 1 件というペースでありまして、警察としては、ゼロに近いという認識でございます。その理由というのは、特別な啓発活動ということではなくて、旅客数

の大幅な減少によるものと考えています。令和2年度の人口1万人当たりの犯罪発生件数59.8件ということで、成田市での観光客数の大幅な減少によって、犯罪発生件数も大幅な減少になったものと考えられます。いずれは、コロナも収束しますし、空港の利用者数も戻ってくると思います。成田市全体としては、好ましい出来事と思うのですが、今後も犯罪件数の推移について注意深く見守っていただければと思います。

### (3) 街頭防犯カメラの設置工事について

今年度設置の街頭防犯カメラは、昨年度2月の協議会でご承認された11箇所から絞り、犯罪抑止重点地区に4か所、その他1か所計5か所に設置。

犯罪抑止重点地区で花崎町地先のヨネダカメラ店前に2台、ふくだや前に2台の4箇所に設置する。その他1か所は、玉造7丁目地先のミニストップ成田玉造店前交差点に1台設置。

花崎町地先の4台については、機器更新のため、当時の設置業者と内容を調整中。

玉造7丁目地先について、設置方法、構造物の管理者や土地を所管している部署等の、各関係者と事前の調整・協議を行なった。

次に防犯カメラを設置したい旨を、設置候補箇所周辺の区・自治会には、区長・自治会長を通して住民の方等に説明をした。特に反対意見等なし。

今後の防犯カメラの設置工事については、工事実施業者の見積競争を行い、8月27日に受注業者との契約締結を経て、設置工事に着工し、12月末までに工事完了、1月から運用を開始する予定。

最後に来年度（令和4年度）の街頭防犯カメラ設置事業については、今後具体的な設置候補箇所（案）の選定等を行い、本年度第2回目の協議会で提示予定である。

### 【委員からの意見】

阿部(光)議長：ただ今の「街頭防犯カメラの設置工事について」、何か、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(特になし)

その他意見等はなく，委員から出された意見等を事務局で吟味することとなり，議事終了となった。

7 傍聴

傍聴者 0 名

8 次回開催日時（予定）

令和 4 年 2 月